

小さな町の素敵な音楽祭 ~2005~

第31回木曾音楽祭

8/25・26・27・28



8月25日(木) 7時 前夜祭コンサート

福島中学校体育館

名曲コンサート

8月26日(金) 7時 フェスティバルコンサート I

木曾文化公園文化ホール

モーツァルト●セレナード 第12番 ハ短調 K.388「ナハト・ムジーク」/ライネッケ●三重奏曲 op.264
フランセ●ファゴットと弦楽のためのディヴェルティメント/シュポア●七重奏曲 イ短調 op.147

8月27日(土) 7時 フェスティバルコンサート II

木曾文化公園文化ホール

クルークハート●木管五重奏曲 op.97/アレンスキー●ピアノ五重奏曲 ニ長調 op.51
バーバー●弦楽四重奏曲 第1番 ロ短調 op.11/ヒンデミット●八重奏曲

8月28日(日) 3時 フェスティバルコンサート III

木曾文化公園文化ホール

マルティヌー●六重奏曲/ブラームス●クラリネット三重奏曲 イ短調 op.114
モーツァルト●音楽の冗談 K.522/ドヴォルザーク●弦楽六重奏曲 イ長調 op.4

*曲目・出演者が変更になる場合がございます あらかじめご了承ください。未就学児の入場はお断り致します。

Violin	漆原啓子 加藤知子	川田知子 久保陽子
Viola	市坪俊彦 篠崎友美	菅沼準二
Violoncello	堀 了介 山崎伸子	山本裕康
Contrabass	星 秀樹	
Flute	佐久間由美子	
Oboe	古部賢一 森枝繭子	
Clarinet	磯部周平 山本正治	
Fagott	岡本正之 吉田 将	
Horn	松崎 裕 山本 真	
Piano	寺嶋陸也 若林 顕 (50音順)	
Director	山本正治 山崎伸子	

入場料

前夜祭コンサート(自由席)	大人 ¥1,000	小・中学生 無 料
フェスティバルコンサート(全指定)	大人 ¥4,000	小・中学生 ¥2,000
フェスティバルコンサート通し券	指定 ¥11,000 (前夜祭コンサートチケット付き)	

*通し券は木曾音楽祭事務局のみ取り扱い (限定120席)

主催 = 木曾音楽祭実行委員会・木曾福島町・木曾文化公園
共催 = 信濃毎日新聞社・財団法人 信毎文化事業財団
助成 = (財)地域創造 企画制作 = 東京アーティスト

■チケット予約

木曾音楽祭事務局 0264(21)1222
<http://www.town.kisofukushima.nagano.jp/music.htm>
東京アーティスト 03(344)7571

■プレイガイド

チケットぴあ 0570(02)9990
木曾文化公園 0264(23)8011



宝くじは
豊かさ築く
チカラ持ち。

宝くじは、広く社会に
役立てられています。

歩こう、ぶらりの町を

昨春秋、松本で高校時代の同級会が開かれ、それに参加した同級生が、町長室に立ち寄った。わたしは都合が付かず、参加できなかった会だった。

「町は変わったな」

この一言が第一声だった。関西に腰を落ち着けて、「ふるさととは、遠きにおいて、思うもの」と言って笑った。それでも町には弟がいるから、時々には里帰りはするようだ。

確かにこの町を知っている人から見ると、この2・3年の変化はビックリするに違いない。長い間、木曾福島は、時間をゆっくりかけて、少しずつ進化してきた。しかしこの3年間は、中心市街地活性化計画に基づいて、集中的にハードの整備もすすんだ。

上の段の町並み修景がすすんだし、路地裏の小道がきれいになった。そとと花の鉢が置かれていけば、通る人の心を和ませるに違いない。河川歩道も、足湯から八沢につながって、水辺に楽しむ空間が広がった。文化ギャラリーの店も、脇の蔵も、『森の遊子・喜しろ』として、人々の足を止めている。足湯から、対岸へ

の歩道橋も間もなく開通する。

5月の連休過ぎに、韓国の三大テレビの一つSBSテレビが取材に来た。これは陳昌鉉氏の2時間ドキュメントの取材で、陳さんがヴァイオリンづくりを独学で学んだ木曾福島の取材だったが、同時に、陳氏が妻の南尹さんに送った恋文の一説を標柱にした初恋の小径の除幕式の取材でもあった。

町はいま、『歩こう、ぶらりの町』をキャッチフレーズに、歩く町をめざしている。旅人は、切り立った溪谷、岩を食む川、心を洗うような緑に浸りながら、いにしへの世界へいざなう歴史文化、そして何よりも、穏やかな素朴な人情に触れ合うことができるだろう。ゆつたりと、ぶらりと町を歩いてもらいたい。

「そうか、昔のふるさとね。ぶらりと歩くか」言うとき、同級生は町長室を後にした。

木曾音楽祭実行委員会会長
木曾福島町長
田中勝巳

8月25日(木) 7時 前夜祭コンサート

名曲コンサート

8月26日(金) 7時 フェスティバルコンサート I

モーツァルト●セレナード 第12番 ハ短調 K.388 「ナハト・ムジーク」
[古部 森枝 磯部 山本正 吉田 岡本 松崎 山本眞]
ライネッケ●三重奏曲 op.264 [山本正 菅沼 若林]
フランセ●ファゴットと弦楽のためのディヴェルティメント
[岡本 久保 加藤 篠崎 山崎 星]
シュポア●七重奏曲 イ短調 op.147
[佐久間 磯部 松崎 吉田 川田 山本裕 寺嶋]

8月27日(土) 7時 フェスティバルコンサート II

クルークハート●木管五重奏曲 op.97 [佐久間 古部 山本正 吉田 松崎]
アレンスキー●ピアノ五重奏曲 ニ長調 op.51 [加藤 漆原 市坪 山崎 若林]
バーバー●弦楽四重奏曲 第1番 ロ短調 op.11 [久保 川田 菅沼 堀]
ヒンデミット●八重奏曲 [磯部 岡本 山本眞 漆原 篠崎 市坪 山本裕 星]

8月28日(日) 3時 フェスティバルコンサート III

マルティヌー●六重奏曲 [佐久間 古部 磯部 吉田 岡本 寺嶋]
ブラームス●クラリネット三重奏曲 イ短調 op.114 [山本正 山崎 若林]
モーツァルト●音楽の冗談 K.522 [松崎 山本眞 漆原 久保 菅沼 星]
ドヴォルザーク●弦楽六重奏曲 イ長調 op.48 [加藤 川田 市坪 篠崎 堀 山本裕]

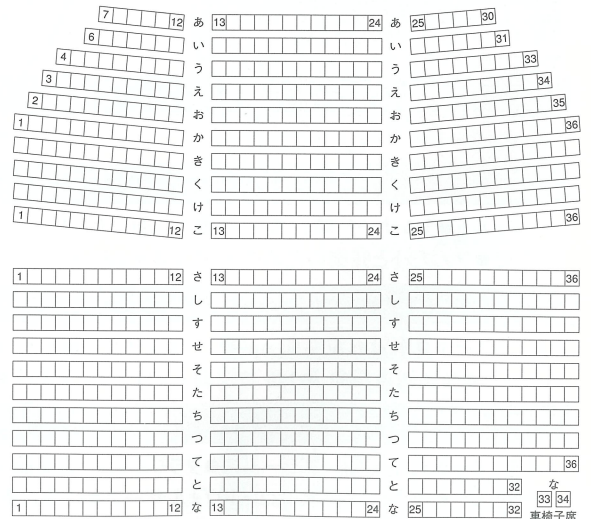
チケット先行予約

6月12日(日) 午前10時～午後5時

木曾音楽祭事務局 Tel.0264(21)1222

(6月13日からは 平日 午前8:30～午後5:30)

木曾文化公園文化ホール 舞台



交通のご案内

木曾 ↔ 新宿 直通高速バスで 4時間10分

木曾福島行き		新宿行き	
新宿駅西口 発	木曾福島駅前 着	木曾福島駅前 発	新宿駅西口 着
8:20	12:30	7:40	11:50
17:20	21:30	15:30	19:40

片道運賃＝木曾福島～新宿 4,500円(往復券10%引・回数券4枚12.5%引)

お問い合わせ・ご予約＝京王高速バス予約センター Tel.03(5376)2222

おんたけ交通高速バス予約センター Tel.0264(22)4555

インターネット＝<http://www.highwaybus.com> iモード＝<http://www.highwaybus.com/i>



■新宿から木曾福島
中央本線 あずさ、塩尻 しなの、中央本線…約3時間20分
新幹線 → 名古屋 しなの、中央本線…約3時間40分

■名古屋から木曾福島
中央本線……………1時間18分



■新宿から木曾福島
中央自動車道 塩尻 IC R19…約4時間

■名古屋から木曾福島
中央自動車道 中津川 IC R19…約2時間30分

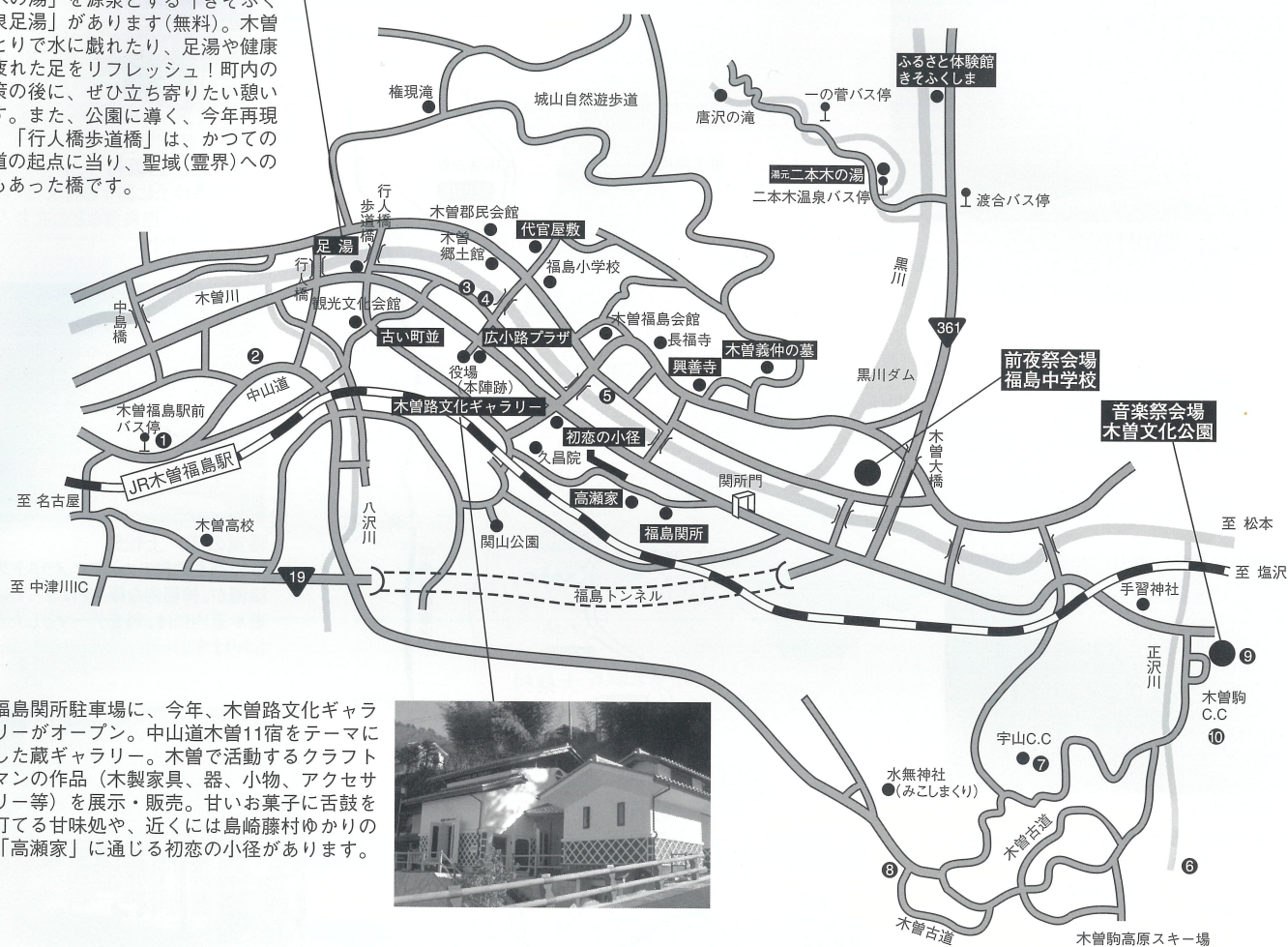
歩いてみよう 木曾福島



2004年春にオープンした親水公園内には、「二本木の湯」を源泉とする「きそふくしま温泉足湯」があります(無料)。木曾川のほとりで水に戯れたり、足湯や健康歩道で疲れた足をリフレッシュ！町内の歴史散策の後に、ぜひ立ち寄りたいたい憩いの場です。また、公園に導く、今年再現された、「行人橋歩道橋」は、かつての御嶽街道の起点に当り、聖域(霊界)への入口でもあった橋です。

木曾福島町は江戸時代、中山道のとても大切な関所のあった宿場町でした、松尾芭蕉や皇女和宮もこの町を通り旅をしました、たくさんの人が通るこの町はたくさんのおもてなしの心が育った町でもあります。

木曾福島町は、歩いて楽しめるゆったりできるまちづくりをすすめ、福島関所や代官屋敷をはじめここ数年は、足湯や文化ギャラリーなど歩いて楽しめるスポットが盛りだくさんです。木曾音楽祭では会場までの臨時バスも出ています。



福島関所駐車場に、今年、木曾路文化ギャラリーがオープン。中山道木曾11宿をテーマにした蔵ギャラリー。木曾で活動するクラフトマンの作品(木製家具、器、小物、アクセサリ等)を展示・販売。甘いお菓子を舌鼓を打てる甘味処や、近くには島崎藤村ゆかりの「高瀬家」に通じる初恋の小径があります。



●木曾音楽祭へは臨時バスをご利用ください。(大人400円 小人200円)

	木曾福島駅発	木曾文化公園着	木曾文化公園発	木曾福島駅着
8月26日(金) 19:00	18:00	18:30	21:00	21:30
8月27日(土) 19:00	18:00	18:30	21:00	21:30
8月28日(日) 15:00	14:00	14:30	17:00	17:30

*木曾福島駅行きバスの発車時刻は、終演時間によって前後致します。

*臨時バスは、上記①～⑤の宿泊施設近くのバス停にも停まります。

木曾音楽祭指定宿泊施設

① 木曾路の宿 つたや	⑤ 三河家旅館
② 武居旅館	⑥ ペンションアルパイン
③ 木曾路の宿 いわや	⑦ 木曾駒高原ホテル
④ つたやグランドホテル	

ご予約は下記までどうぞ(チケットも手配いたします)

アルピコハイランドバス(株)木曾案内所

Tel. 0264 (21) 3301

その他の宿泊施設

⑧ 駒の湯	0264(23)2288
⑨ 駒王	0264(23)7201
⑩ 森のホテル	0264(23)7331

夏の木曾路をめぐる

見どころいっぱいのオプションツアー3コース

1 木曾路観光 2 伊那谷観光 3 蓼科ビーナスライン

最少催行人員 25名 代金 9,000円

観光オプションツアーのお問い合わせ・お申し込み

アルピコハイランドバス(株)木曾案内所 Tel.0264(21)3301

フェスティバルコンサート会場で軽食を販売

8月26日(金)～28日(日) 開場1時間前から販売

地元の郷土料理愛好家「四季の会」が、木曾の名物料理(五平餅・山菜おこわ・米粉まんじゅう・朴葉寿司・飲み物)などを販売します。

木曾路

木曾は四方を山に囲まれた山岳の地。古く中山道は、江戸・日本橋から京都・三条大橋を結ぶ重要な街道として人々に利用され、今でもその歴史を色濃く残している。木曾路の険路には11の宿場が設けられ、妻籠や馬籠、奈良井などの宿場町を始め、贅川(にえかわ)関所、福島関所などが置かれた。寝覚の床、霊峰御嶽など、景勝の地や、歴史と文化を物語る史跡を見ることができる。そして若者が集うスキー場はもちろん、テニスコート、ゴルフ場、多くの温泉なども点在しており、夏にはさわやかな高原で都会では味わえない満天の星空や自然とのふれあいが楽しめる。



開田高原／開田村
山々に埋もれる木曾谷では珍しく、広大な高原です。忘れな草・木曾馬・そばの産地です。



木曾御嶽山
標高3,067m。悠然とそびえ立つ霊峰御嶽。古くから信仰の対象として、また登山客にも人気があります。山麓の高原は、素晴らしい自然体験でいっぱい。

■ **木曾路観光のお問い合わせは**
木曾観光連盟 Tel.0264(23)1122
<http://www.kisoji.com/>



義仲館／日義村
木曾義仲公に関する古文書・絵巻・上洛地図ほか、巴御前などの武者人形も展示されています。



寝覚の床／上松町
奇岩奇石の間をぬってエメラルドグリーンの深淵が、神秘的な輝きをはなっています。遊歩道内には、時をテーマとした美術公園もあります。



妻籠宿／南木曾町
中山道木曾11宿のひとつ。重要伝統的建造物群保存地区に選定されたほど、集落保存がよく、往時を想わせる街並みです。

木曾音楽祭30周年記念CD・記念誌絶賛発売中

30周年記念CD (第1巻～4巻) 各1,200円 30回の中から名演奏を選曲し収録

- Vol. I モーツァルト●フルート四重奏曲第1番 二長調 K.285 <第19回 1993.8.22(日)>
シューマン●ピアノ四重奏曲 変ホ長調 op.47 <第11回 1985.8.11(日)> 他
- Vol. II ベートーヴェン●六重奏曲 変ホ長調 op.81b <第22回 1996.8.24(土)>
ブリテン●ファンタジー op.2 <第29回 2003.8.22(金)> 他
- Vol. III ブラームス●セレナーデ 第1番 二長調 op.11 (九重奏版) <第26回 2000.8.26(土)>
ラヴェル●ピアノ三重奏曲 イ短調 <第23回 1997.8.22(金)>
- Vol. IV モーツァルト●協奏交響曲 変ホ長調 K.297b (木管八重奏版) <第28回 2002.8.25(日)>
ドホナーニ●六重奏曲 第1番 ハ長調 op.37 <第25回 1999.8.21(土)>

30周年記念誌 1冊1,000円 木曾音楽祭の歴史を収録 (20周年記念誌も合わせて発売中)

詳しくは、ホームページまたはお電話でお問い合わせください。

<http://www.town.kisofukushima.nagano.jp/music.htm>
Tel.0264(21)1222 木曾音楽祭事務局

